



校長室だより



風薫る5月、新緑がまぶしい季節になりました！

日中の日差しが大分強くなり、子どもたちも半袖・ハーフパンツで過ごすことが多くなる季節になりました。先週13日(金)には好天のもと、延期されていた1・2・3学年の遠足が無事行われました。18日(水)には今年度1回目の「校長講話」があり、以下のような話をしました。

<なぜ「あいさつ」は大切なのでしょうか？>

全校の皆さん、おはようございます。気持ちよいあいさつが出来ましたね。岸野小学校では今年も「あいさつ」を大事にして、児童会活動でも「あいさつカード」などを使いながら、大変意欲的に取り組んでいます。先日、近所に住んでいる1歳の赤ちゃんを育てているあるお母さんから「岸野小学校の子達は、道ですれ違った時に元気にあいさつしてくれますね。とても気持ちいいです。」という言葉をかけていただきました。また、毎朝のマラソンの時はもちろんですが、朝学校へ来ると、6年生が職員室に立ち寄って「おはようございます」とひとりひとり大きな声であいさつをしてくれています。その声で校長先生は毎日すごく元気をもらっています。

ところで、皆さんは「なぜあいさつが大切なのか」ということを考えたことがあるでしょうか。今日はその答えの例を2つお話してみたいと思います。1つ目は「あいさつ」という漢字の意味から考えられることです。あいさつは漢字で書くと「挨拶」と書きます。「挨」には「押し開く、互いに心を開いて近づく」、「拶」には「迫る、擦り寄る」といった意味があります。「出会った人が互いに心を開いて、相手に迫っていく」ということが挨拶の意味とされています。つまり「あいさつ」というのは、まずは「わたしはあなたに心を開くよ」という態度を示すことができるから大切なのだということです。2つ目は「挨拶」は「生きていることを感謝し合うことができる」からです。あいさつは「あなたは大切な人なのですよ」と伝える最良の手段であり、お互いが、お互いのおかげで生きていることを自覚し合う、かけがえのない機会であると考えられることです。あいさつによって「わたしはあなたとつながっていて、あなたのおかげで生きていますよ」ということが示せるのです。あいさつは「わたしは今ここに生きています。目の前にいるあなたとわたしは、この世界で同じ時間を一緒に過ごす大切な関係です」ということを示すことができる方法だから大切だと言うことです。この2つをまとめると、あいさつは「心を開き、相手を認め、信頼関係を作り上げていく大切な方法である」ということです。だから、先生方やおうちの方々はいつも「挨拶はとても大切、挨拶をしっかりしなさい」と教えてくれているのです。あいさつは、周りの人とつながりながらより良く生きていく魔法の言葉なのです。

最後に、挨拶のレベルを更にUPさせるために、今日から次の2つのことを心がけて挨拶をしましょう。1つ目は「人より先に」2つ目は「人より大きな声で」です。この2つの挨拶を心がければ、今年の児童会目標「光まぶしい岸野小学校」に必ず近づかずにはなりません。一緒に頑張りましょう。

今月の校長室だよりは、「あいさつ」について掲載しました。これからももっともっと明るく元気な挨拶が響き合う学校づくりを目指していきたく思います。学校へのご意見、ご要望等ありましたら、右の連絡先へお問い合わせ下さい。「全ては岸野小学校の子どもたちの笑顔のために!」、「子ども達も先生も、明日も早く行きたいと思う学校づくり」を目指し取り組んでまいります。ご支援・ご協力よろしく願い致します。

佐久市立岸野小学校

*ご意見、ご要望、お問い合わせ

などは、下記までお寄せ下さい。

TEL 0267-62-0384

Fax 0267-62-0542

